

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	南九州SW会				
H30採択グループ番号	07	—	0645	—	0780

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	グループとして30年度に最も力を入れたのは、地域の皆様に「住まい手の方々が笑顔で生活できる住まいをご提供する事」の実現に向けて、木材の選択から加工、設計、施工までの一連の流れの中で最高の状態を提供する事を目指しました。その為の構成員の研修会や消費者の方々の見学会や意見交換会の開催など良質で安心して住める住宅の提供に向けた取組を行ってまいりました。
----	--

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/06/13	名称	南九州市SW会	●		
	内容	定期的に行っている会で、H31年度グリーン化事業の共通ルール・研修会の実施計画・申請方法・H30年度との違いなどの勉強会を実施。 状況に応じて実績報告等の説明会の開催について計画する。							
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/07/14	名称	家づくり教室	●		
	内容	家づくりのポイントを国語・社会・保険・理科・算数でわけて、消費者家族みんなで理解できるイベントです。長期優良住宅やゼロエネルギー住宅の補助金活用も案内します。							
	消費者説明会 2	有	開催日	2019/11/03	名称	合同完成見学会	●		
	内容	各工務店の完成見学会をグループ内で共有して、消費者を案内し長期優良住宅やゼロエネルギー住宅を提案する。							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/06/13	名称	グリーン化事業勉強会	タイプ	座学	●
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/07/14	名称	グリーン化事業OB見学会	タイプ	見学会	●
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/08/11	名称	グリーン化事業構造見学会	タイプ	見学会	●
	工務店研修会 4	有	開催日	2019/11/10	名称	グリーン化事業完成見学会	タイプ	見学会	●
	工務店研修会 5	有	開催日	2019/12/15	名称	グリーン化事業実績報告勉強会	タイプ	座学	●

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有		●
	内容	事務局内にサポート体制を構成し、未経験工務店の提案・申請をサポート。通常提案を行っている住宅と長期優良住宅やゼロエネルギー住宅の違いを説明し、技術的なサポートを行う体制を作った。		
取組み ②	サポートの有無 2	有		●
	内容	未経験工務店を中心に、事務局員がサポートに付き長期優良住宅やゼロエネルギー住宅の提案から設計・申請手続きの助けを行い、自信をもって対応できるようにした。		
取組み ③	サポートの有無 3	有		●
	内容	事務局員が消費者へのアプローチブックやカタログを作成し、未経験工務店へ提供し、長期優良住宅やゼロエネルギー住宅の提案の方法を伝える勉強会をした。		

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	50	発行予定	55
② 住宅履歴情報の保管先	グループ	機関名		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	事業者廃業時に他の構成員で対象住宅の検査を行う。それ以降管理する施工業者を事務局から消費者へ紹介を行う。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	グループ構成員全員に対して省エネ講習会への受講を義務付けた。特に施工グループには、施工現場に係る外注事業者までの受講をお願いし、グループ内の住宅省エネ化に向けた取組を強化した。	
省エネ化に対する取組 ②	有	
内容	ゼロエネルギー住宅に住まわれている消費者の光熱費などの情報を、グループ内で共有し、住宅省エネ化の大切さやメリットを伝えあい取組を強化した。	
BELS工務店の登録数	3社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	南九州SW会				
H30採択グループ番号	07	—	0645	—	0780

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/06/13	名称	南九州SW会		
	内容	定期的に行っている会で、H31年度グリーン化事業の共通ルール・研修会の実施計画・申請方法・H30年度との違いなどの勉強会を実施。 状況に応じて実績報告等の説明会の開催について計画する。						
② 消費者	消費者説明会 1		開催日	2019/07/14	名称	家づくり教室		
	内容	家づくりのポイントを国語・社会・保険・理科・算数でわけて、消費者家族みんなで理解できるイベントです。長期優良住宅やゼロエネルギー住宅の補助金活用も案内します。						
	消費者説明会 2		開催日	2019/11/03	名称	合同完成見学会		
	内容	各工務店の完成見学会をグループ内で共有して、消費者を案内し長期優良住宅やゼロエネルギー住宅を提案する。						
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/06/13	名称	グリーン化事業勉強会	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/07/14	名称	グリーン化事業OB見学会	タイプ	見学会
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/08/11	名称	グリーン化事業構造見学会	タイプ	見学会
	工務店研修会 4	有	開催日	2019/11/10	名称	グリーン化事業完成見学会	タイプ	見学会
	工務店研修会 5	有	開催日	2019/12/15	名称	グリーン化事業実績報告勉強会	タイプ	座学

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	事務局内にサポート体制を構成し、未経験工務店の提案・申請をサポート。通常提案を行っている住宅と長期優良住宅やゼロエネルギー住宅の違いを説明し、技術的なサポートを行う体制を作った。						
取組み②	サポートの有無 2	有						
	内容	未経験工務店を中心に、事務局員がサポートに付き長期優良住宅やゼロエネルギー住宅の提案から設計・申請手続きの助けを行い、自信をもって対応できるようにした						
取組み③	サポートの有無 3	有						
	内容	事務局員が消費者へのアプローチブックやカタログを作成し、未経験工務店へ提供し、長期優良住宅やゼロエネルギー住宅の提案の方法を伝える勉強会をした。						

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	グループ	機関名	
------------	------	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	事業者廃業時に他の構成員で対象住宅の検査を行う。それ以降管理する施工業者を事務局から消費者へ紹介を行う。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	グループ構成員全員に対して省エネ講習会への受講を義務付けた。特に施工グループには、施工現場に係る外注事業者までの受講をお願いし、グループ内の住宅省エネ化に向けた取組を強化した。 ゼロエネルギー住宅に住まわれている消費者の光熱費などの情報を、グループ内で共有し、住宅省エネ化の大切さやメリットを伝えあい取組を強化した。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	消費者から改修工事の依頼が来たら、省エネ改修の大切さを伝えられるように勉強会を実施した。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	無	実施日				
内容						
研修計画 ②		実施日				
内容						

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	南九州SW会				
H30採択グループ番号	07	—	0645	—	0780

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	私たちが目指すのは、「住まい手の方々が笑顔で生活できる住まいをご提供する事」にあります。そのためには、鹿児島県の優良な地域産材を使った地域風土に調和する家づくりと、住まい手に安心してお住まいいただくために、チームで取り組む継続的なメンテナンスを約束した長期優良住宅やゼロエネルギー住宅を提供する事にあります。	●
----	--	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	■	50%以上		80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明					
主要構造材	土台	有	かごしま材を使用します。			
	柱	有				
	梁・桁等の横架材等	有				
羽柄材	間柱、根太、垂木等	有				
造作材	枠材、廻縁等	有				
板材	壁板、床板等	無				

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	H28、H29、H30年度の地域材需要実績に基づく1棟当たりの平均需要予測を算出しグループとして必要数在庫として押さえる。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	給湯器・トイレ・キッチン・ユニットバスなどの住宅機器を3パターンほどの推薦建材としてまとめ、南九州SW会の標準仕様として提案。建材メーカーへの協力要請でコスト削減に取組む	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	グループ内の地域材(かごしま材)在庫状況(供給可能量)を月次毎に事務局が把握し、施工グループ各社に定期連絡として配信。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	共通施工基準書に基づく施工に実施、省エネに関しては省エネルギー技術講習会の施工講習を受講し、施工技術の共通化を図る。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	グループ共通の維持管理計画書を作成し引渡し時に、内容説明を行い提出定期点検時期が来ると事務局より施工事業者へ定期点検実施の告知(システムを介した自動告知)を行う。施工事業者は、点検完了後住宅履歴情報登録を行い事務局へ報告。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	グループとして施工中・引渡し前の2回の点検検査を行い、南九州SW会の施工品質の確保に取り組む。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	共通書式を使い、「一式見積り目の禁止」「消費者に分かりやすい用語の使用」「見積り説明資料の添付」を共通取組みとする。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	BELS取得の義務 UA値0.6以下で設計する	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	基本的に各構成員の事業所では週休2日を採用している。(一部隔週2日がある)
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	現在、キャリアアップに関する学習会を計画し、対応の検討に入った。
③ 社会保険への加入	有	内容	基本的に全事業所が加入している。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	グループ内で安全講習に関する取り組み研修を実施予定

II. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	南九州SW会				
H30採択グループ番号	07	—	0645	—	0780

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	1住居に対して最低1部屋の和室の居室の配置を推薦している。
② 和瓦の活用	有	内容	南九州SW会の基本提案仕様として和瓦の提案を推薦する。
③ 襖・障子の活用	有	内容	地域の建具事業者を構成員として迎え、障子を活用し、和の住まいを実現すると共に、省エネ性能をさらに上げる工夫を行う。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	地域の伝統的な素材として川辺仏壇の活用に向けて、その特徴・性能や視覚的な優位性をパンフレットに鏝め活用に向けた消費者提案を行っている。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	南九州SW会プランニング研修に際し地域の有識者・施工事業者間での意見交換を介した地域の伝統的なデザインの取り込みに関する勉強会を実施。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	相談窓口(グループ主催)の住生活全般に関する相談会・学習会のコンテンツの一つとして計画予定
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	プランニング研修の際に伝統的デザインへの取組みだけでなく、外構を含めた建設予定地の街並みに対する配慮も研修する。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	特になし		
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	地震の発生確率が高い中、地域の住産業団体と連携した災害時の対応内容について協議・取り決めを行っている。また、大規模台風等の自然災害発生時には、各社が手分けした被害調査を義務付けており補修計画の提案を行う事としている。		